

中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座（小・中学校，高等学校） 情報教育分野に関する研修

6月12日から28日まで，本県教諭としての経験が6年目の先生方を対象にした中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座の第3日情報教育分野に関する研修が行われました。

全体での講義・実践発表後，受講者の先生方は，ICTを効果的に活用した授業を展開できるようになるために，3つの実習に取り組みました。（研修の様子の動画は[こちら](#)から）

「実物投影機・電子黒板（デジタル教科書）」実習（小・中学校）

設置も簡単で，活用の幅の広い実物投影機は，「何から取り組もうかな」と考える先生方には，うってつけのICTです。「大きく映す」という，シンプルな機能のため，何をどのように映すかの工夫が重要です。実習では，手を電子黒板に映し，授業でどのように使えるか考えました。また，デジタル教科書の体験も行いました。



「Googleアプリケーション」実習（高等学校のみ）

県内すべての教員がもつ，教育情報ネットワークのアカウントで，さまざまなGoogleアプリケーションを活用することができます。特に高等学校では，申請することにより，「Classroom」を使用することができます。実習では，Formsを使った小テスト作成と，Classroomでの課題の共有及び管理の体験をしました。

「iPad」実習

授業支援アプリ「ロイロノート・スクール」を使って，模擬授業を行いました。双方向性のある授業を展開するため，小学校算数と中学校美術の内容で，児童生徒になったつもりで授業に取り組みました。また，自分の考えを整理し，分かりやすく説明するための「思考ツール」も活用しました。



「Windowsタブレット」実習

学習活動ソフトウェア「SKYMENU Class」で，協働的に学習を進める授業の展開について，体験を通して学びました。動画教材を視聴し，自分の考えを基にグループの主張をまとめ，意見交換を行いました。ICTを活用することで，一瞬で情報共有ができ，根拠を明確にしながらか話し合いを進めることができました。

ICTを活用することで，探究的な学習や協働的な学習が充実することを実感することができました。今ある機器を活用し，児童生徒が主体的に活動できるような授業づくりに努めていきたいと思ひます。

受講者の声

教育研修センター情報教育課では，県内各校の「教育の情報化」についての取組を支援していきます。



お問い合わせ先
茨城県教育研修センター 情報教育課
電話(0296)78-3211